

南海トラフ地震臨時情報（調査中）

- ・原則として通常通りの教育活動を行う。ただし、次の臨時情報まで生徒の安全を確保しつつ、情報収集に努める。
- ・校外活動 発表後に出発する場合 出発を一時見合わせ
校外での活動中は、いつでも帰校できるように準備
- ・後に発表される臨時情報に備え、連絡体制などの確認を行う。

南海トラフ地震臨時情報（調査中）

①南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）

- ・生徒の安全確保に留意しながら、原則として通常授業や行事を行い、授業終了後には、生徒を帰宅させる。
 - ・校外活動については、発表後に出発する場合は、延期（中止）する。校外での活動中の場合は、速やかに帰校させる。
 - ・部活動は実施しない。
 - ・校長は、学校の立地条件（土砂災害警戒区域などを含む）や生徒の登下校の状況を勘案して、必要であれば、臨時休業とすることができる。
- ※地震発生から1週間後、国からの発表、社会状況等に応じて②に準じた対応へ移行する。

②南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）

- ・通常どおりの教育活動を行う。
 - ・校外活動については、発表後に出発する場合は一時見合わせ、校外で活動中の場合は、いつでも帰校できるように準備する。
- ※地震発生から1週間後、国からの発表を受け、大地震発生の可能性がなくなったわけではないことを留意しながら、通常どおりの教育活動を行う。

③南海トラフ地震臨時情報（調査終了）

- ・通常どおりの教育活動を行う。

「南海トラフ地震臨時情報」に付記するキーワードとその条件

キーワード	各キーワードを付記する条件
調査中	<p>○下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視領域内でマグニチュード 6.8（速報値）以上の地震が発生 ・想定震源域内のプレート境界で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測 ・その他、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測
巨大地震警戒	○想定震源域内のプレート境界において、 Mw8.0 以上の地震 が発生したと評価した場合（半割れケース）
巨大地震注意	<p>○監視領域内においてMw7.0 以上の地震が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く）</p> <p>○想定震源域内のプレート境界において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合（一部割れケース・ゆっくりすべりケース）</p>
調査終了	○巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合